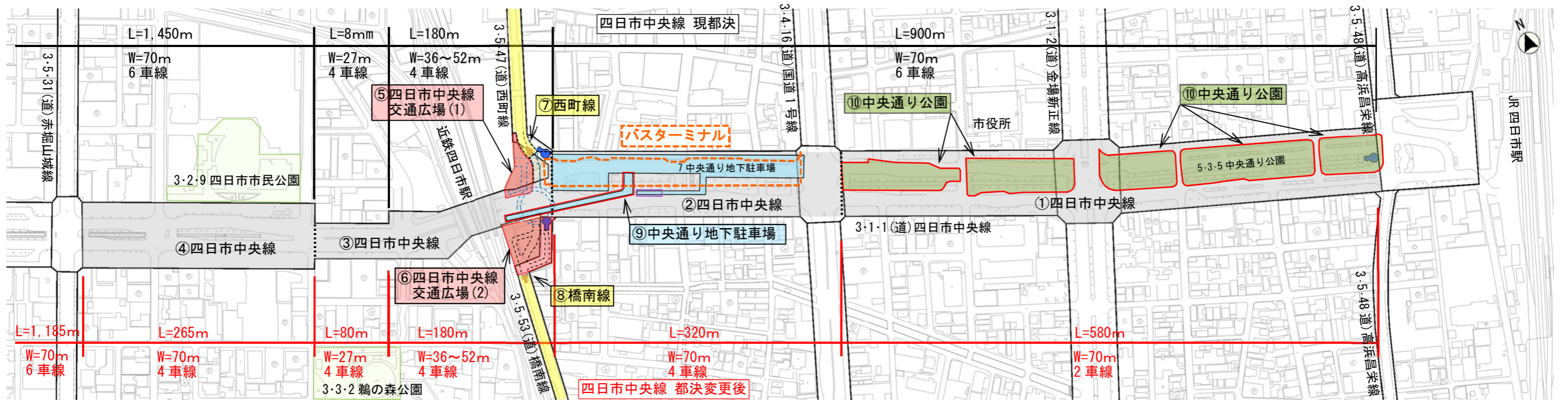


■中央通り再編に係る都市計画の変更について

○変更に至る経緯

- 本市では、リニア時代を見据えたまちづくりを進めており、中部圏域有数の産業都市としてさらなる中核的役割を果たし、圏域の活力を牽引し続けていくに相応しい駅前空間の実現に向けて、関係者等とともに平成30年度に「近鉄四日市駅周辺等整備基本構想」を策定し、「賑わい・もてなし空間の創出と回遊性の向上」、「まちづくりと連動した交通機能の配置」、「中央通りを活用した空間の魅力向上」の基本的な3つの方向性を掲げた。
- その後、具体的な整備に向けて、基本構想や社会情勢の変化などを踏まえつつ、関係者等とともに基本計画の策定を進め、令和5年5月に『「ニワミチよっかいち」中央通り再編基本計画』をとりまとめた。この中に、中央通りにおける人中心の「歩いて楽しい」高質で魅力ある空間づくり、近鉄四日市駅・JR四日市駅周辺において、駅前広場の整備やバスターミナルの整備など一大交通拠点づくりを進めることなどを位置付けた。
- 今回、中央通り再編の全体像が固まったことから、これに併せて必要な都市計画変更を行う。

○変更概要(図)

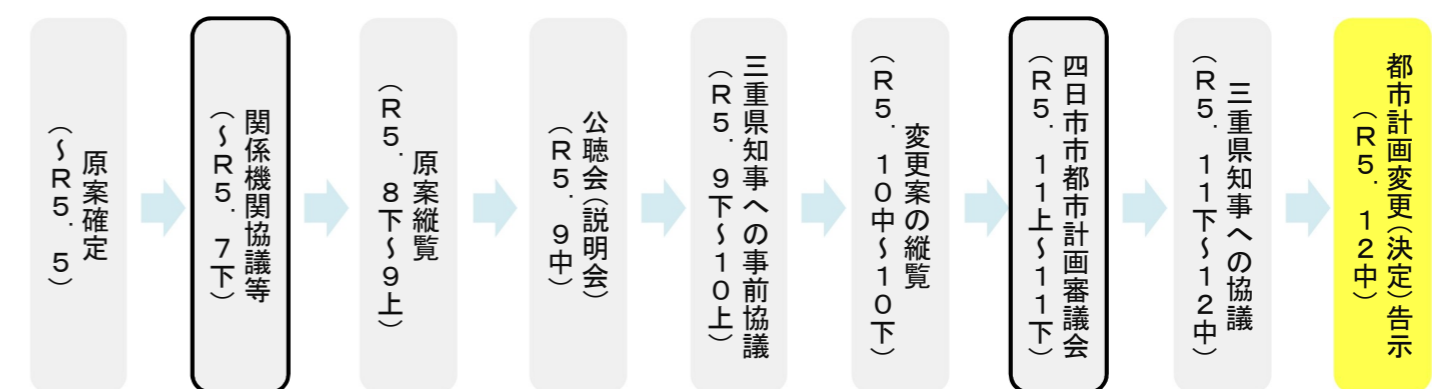


※本図は概要であるため位置は参考とすること。

○変更概要(表)

| 都市計画施設 | | | 変更概要 | |
|--------|--------|-----------|--------------------|------------------|
| 種別 | 番号 | 名称 | 箇所 | 都決変更の主な内容 |
| 道路 | 3・1・1 | 四日市中央線 | ①本線(JR四日市駅-国道1号) | 車線数減(6→2)、幅員構成変更 |
| | | | ②本線(国道1号-近鉄四日市駅東) | 車線数減(6→4)、幅員構成変更 |
| | | | ③本線(近鉄四日市駅東-市民公園) | 幅員構成変更 |
| | | | ④本線(市民公園以西) | 車線数減(6→4)、幅員構成変更 |
| | | | ⑤駅前広場(1)(近鉄東) | 駅前広場変更に伴う区域変更 |
| | | | ⑥駅前広場(2)(近鉄南) | 駅前広場変更に伴う区域変更 |
| | 3・5・47 | 西町線 | ⑦起点周辺 | 駅前広場変更に伴う起点変更 |
| | 3・5・53 | 橋南線 | ⑧起点周辺 | 駅前広場変更に伴う起点変更 |
| 駐車場 | 7 | 中央通り地下駐車場 | ⑨出口(車路) | 出口移設に伴う区域変更 |
| 公園 | 5・3・5 | 中央通り公園 | ⑩中央通り(JR四日市駅-国道1号) | 新規整備(P-PFI活用予定) |

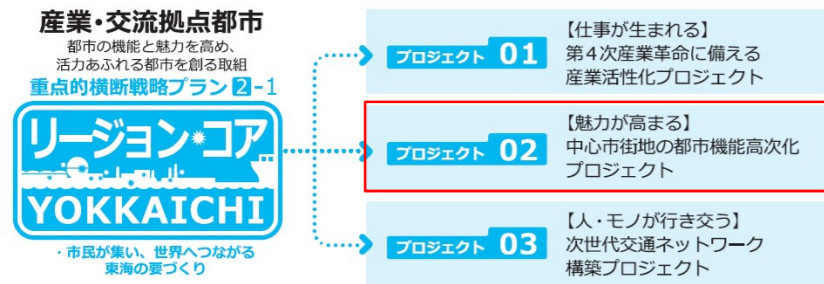
○想定スケジュール



■各種計画における位置付け

○四日市市総合計画

◇将来都市像『産業・交流拠点都市』の重点横断戦略プラン



2027年のリニア開通を機に、首都圏との交流が飛躍的に高まります。人と人との交流によって生み出された知恵が、新たな産業や文化を育む力になることから、四日市の玄関口である中心市街地を、まちの魅力と活力をひと目で見て取り、体感できる、象徴性を持った高次な都市機能が集積する都市空間へと転換を進めます。



No. 1 WE DO 四日市中央通り

交通・にぎわい+産業+健康

- 目的** JR四日市駅及び近鉄四日市駅の駅前広場や歩行空間等の整備・高次都市機能の集積で、**居心地が良く歩きたくなる魅力的なまちなかを形成する**
- 具体的取組**
- ① にぎわい創出に向けた市の玄関口に相応しい駅前空間の整備に取り組みます。
 - ② 駅前広場や歩行空間等の整備による交通結節機能強化を図ります。
 - ③ 近鉄四日市駅—JR四日市駅間等において、新たな技術を取り入れた交通手段の実現に関係者とともに取り組みます。
 - ④ 新図書館を中心とした複合的な機能をあわせ持つ拠点施設立地など広域的な都市機能を集積するとともに、再開発など民間投資の誘導を図ります。



国土交通省とのパートナーシップのもと、健康づくりにもつながるウォーカブルなまちづくりを推進します。まちなかを車中心からひと中心の空間へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へと改変します。

駅前広場や歩行空間等の整備 (イメージ)

○四日市市都市計画マスタープラン全体構想

◇土地利用の基本方針 (中心市街地)

- ・市街地の再整備などによる商業・業務機能の強化や大規模集客施設の集積を図るとともに、都心居住の促進や文化施設・福祉・医療施設などの**公共公益施設の立地促進**を図り、**多様な魅力ある商業・業務地の形成**を目指す。
- ・鉄道やバスなどの交通結節機能の強化や歩行空間や自転車走行空間の整備を進め、にぎわいや回遊性の向上を図る。

○四日市市立地適正化計画

◇基本理念と基本方針

基本理念 (ターゲット) **いきいきと働き暮らし続けられるまちづくり**

方針1 リニア時代に輝くまち

●リニア時代の交流人口拡大効果を活かすよう、市内外から多くの人が訪れ・働き・学び・楽しみ・交流するための都市機能が集積し、交通結節点でもある中心市街地などの魅力を高め、みんなから選ばれるまちづくりを進めます

駅前広場・歩行空間等の整備や高次都市機能の誘導などにより、居心地がよく歩きたくなるようなまちなかを形成するなど、都心部における賑わいの創出や魅力の向上を図る

◇都市機能誘導区域



◇都市機能誘導に係る誘導施策

- ▷中心拠点の都市機能の高度化・集約化
- ・リニア時代に相応しいゲートウェイの整備
 - ・利用者の増加が期待される中心市街地における回遊性の向上、歩行空間や公園など公共空間の整備
 - ・駅近くに学び・楽しみ・交流する機能を誘導(大学等)
 - ・都市型産業・知的産業の誘導
- 《主な事業など》
- ・近鉄四日市駅周辺等整備事業
 - ・中心市街地拠点施設整備事業 (図書館複合施設)
 - ・公園再整備事業 等

○“ニワミチよっかいち”中央通り再編基本計画 一山を望み港へ結ぶ歩きたくなる中央通り—

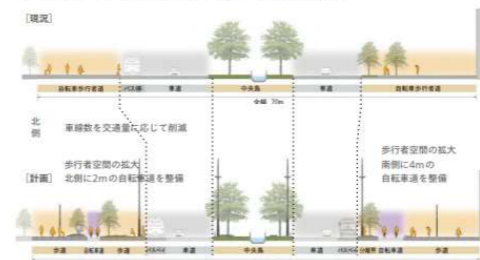
◇4つの視点と中央通りの整備方針

・基本構想で整理された3つの視点に「社会情勢の変化への対応」を加えた4つの視点に基づき、中央通りの空間を構成していきます

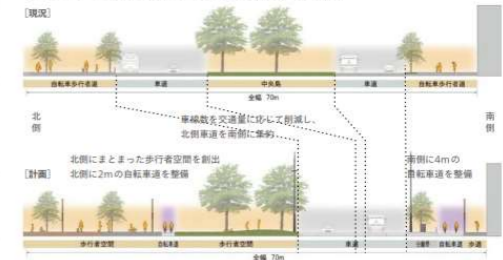
| | |
|--|---|
| 視点1 賑わい・もてなし空間の創出と回遊性の向上 「顔・賑わいづくり」 | <ul style="list-style-type: none"> ・西浦通り～市民公園東区間は、中央島を残し南北の車線数の削減 ・近鉄四日市駅東～JR四日市駅区間は、南側に車線を集約し、歩行者空間の確保 |
| 視点2 まちづくりと連動した交通機能の配置 「交通機能強化」 | <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄四日市駅東側にバスターミナルの集約 ・周辺の各種公園、バスターミナル、商店街など周辺施設と連携 |
| 視点3 中央通りを活用した空間の魅力向上 「空間の魅力向上」 | <ul style="list-style-type: none"> ・中央通りの歩行者空間を最大化することで、魅力ある空間の創出 ・クスノキ並木を活かした緑豊かで高質なデザインにより、都市景観形成の軸となる空間の創出 |
| 視点4 社会情勢の変化への対応 「スマート化、レジリエンスの向上」 | <ul style="list-style-type: none"> ・将来的な次世代モビリティの走行を見据えた南側自転車道の整備 ・災害時などの非常時を想定した、避難空間の確保 |



西浦通り～市民公園東区間の道路断面 (A断面)



国道1号～JR四日市駅区間の道路断面 (B断面)



※“ニワミチよっかいち”中央通り再編基本計画の詳細については別添パンフレット参照